

令和7年12月17日

気象庁
消防庁
林野庁

林野火災予防のための新たな取組を開始します —記録的な少雨時に火の取り扱いへの注意喚起を行います—

令和7年2月26日に岩手県大船渡市において発生した大規模な林野火災を受け、消防庁及び林野庁は「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」を開催し、今後取り組むべき火災予防のあり方等について検討を行い、8月に報告書を取りまとめました。

本報告書を受け、気象庁は消防庁及び林野庁とともに、記録的な少雨時において火の取り扱いに対する注意喚起を行う新たな取組を開始します。

取組内容

①「少雨に関する気象情報」を利用した林野火災への注意喚起〔運用期間：1月～5月〕

気象庁ではこれまで林野火災を明示した情報を発表していませんでしたが、今後は、記録的な少雨時に発表する「少雨に関する気象情報」において新たに林野火災を明示して火の取り扱いに注意を呼びかけます。

② 臨時の記者会見の開催〔運用期間：1月～5月〕

少雨の地域に全国的な広がりがある場合には、気象庁は消防庁及び林野庁とともに合同記者会見を開き、気象状況等を解説するとともに林野火災への注意喚起を行う新たな取組を開始します。

③ 林野火災予防ポータルサイトの開設〔12月17日公表〕

気象庁HPにおいて、乾燥注意報、強風注意報の発表状況や降水量等の各種気象情報を集約した林野火災予防のためのポータルサイトを新たに開設します。

URL <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/rinya/rinyakasai.html>

④ SNS等による情報発信の強化〔随時〕

記録的な少雨時や林野火災の多発時にX（旧Twitter）等を通じた注意喚起を行います。

大規模な林野火災の発生は1月～5月に集中しています。また、林野火災の出火原因の多くは人為的なものです。屋外で火を取り扱う際には、上記の情報を参考にするとともに、市町村が発令する林野火災警報・注意報に留意していただくようお願いします。

参考 大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会（消防庁、林野庁）
（URL） https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/post-167.html

＜本件に関する問合せ先＞

（気象庁の取組に関すること）

気象庁大気海洋部業務課 深町、蒔田

代表：03-6758-3900（4107、4121）

直通：03-3434-9055

（林野火災予防に関すること）

消防庁特殊災害室 広富、緑川

直通：03-5253-7528

（森林に関すること）

林野庁森林整備部研究指導課保護企画班

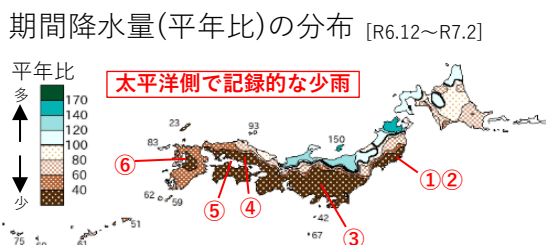
代表：03-3502-8111（6214）

直通：03-3502-1063

- 令和7年2月26日に岩手県大船渡市において発生した大規模な林野火災を受け、消防庁及び林野庁は「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」を開催し、今後取り組むべき火災予防のあり方等について検討を行い、8月に報告書を取りまとめました。
- 本報告書を受け、気象庁は消防庁及び林野庁とともに、記録的な少雨時において火の取り扱いに対する注意喚起を行う新たな取組を開始します。

令和6～7年冬の少雨について

- ・ 令和6～7年の冬は、東日本から西日本の太平洋側で降水量が少なく、統計を開始した昭和21～22年の冬以降で1位の少雨となった。
- ・ 記録的な少雨となった地域で大規模な林野火災が発生した。



令和7年の主な林野火災事例 (ha)

No	出火日	市町村	焼損面積
①	2/19	岩手県大船渡市	324
②	2/26	岩手県大船渡市	3,370
③	2/26	山梨県大月市	107
④	3/23	岡山県岡山市・玉野市	486
⑤	3/23	愛媛県今治市・西条市	482
⑥	3/23	熊本県南阿蘇村	220

※ 焼損面積 3,370haは昭和39年以降で最大

検討会において
対策を検討

令和8年1月～

① 「少雨に関する気象情報」を利用した
林野火災への注意喚起 [運用期間：1月～5月]

気象庁ではこれまで林野火災を明示した情報を発表していませんでしたが、今後は、記録的な少雨時に発表する「少雨に関する気象情報」において新たに林野火災を明示して火の取り扱いに注意を呼びかけます。

② 臨時の記者会見の開催 [運用期間：1月～5月]

少雨の地域に全国的な広がりがある場合には、気象庁は消防庁及び林野庁とともに合同記者会見を開き、気象状況等を解説するとともに林野火災への注意喚起を行う新たな取組を開始します。

③ 林野火災予防ポータルサイトの開設 [12/17公開]

気象庁HPにおいて、乾燥注意報、強風注意報の発表状況や降水量等の各種気象情報を集約した林野火災予防のためのポータルサイトを新たに開設します。

④ SNS等による情報発信の強化 [随時]

記録的な少雨時や林野火災の多発時に X(旧Twitter)等を通じた注意喚起を行います。

少雨に関する気象情報

令和x年x月x日 ○○管区气象台 発表

○○地方では、1月中旬から降水量の少ない状態が続き、記録的な少雨となっています。

記録的な少雨になった令和7年には、冬から春にかけて大規模な林野火災が多く発生しました。火の取り扱いに十分注意してください。

(気象情報の例)

林野火災予防ポータルサイト

・ 火災予防の意識、知識の向上
・ 被害防止

現在の気象状況

・ 乾燥注意報、強風注意報の発表状況
・ 降水量等の各種気象情報を集約した林野火災予防のためのポータルサイトを新たに開設します。

○ 乾燥注意報 (乾燥度別)
○ 降水量 (単位: mm/24時間) (過去1週間) (過去1ヶ月) (過去1年) (過去5年) (過去10年) (過去20年) (過去30年) (過去40年) (過去50年) (過去60年) (過去70年) (過去80年) (過去90年) (過去100年)

